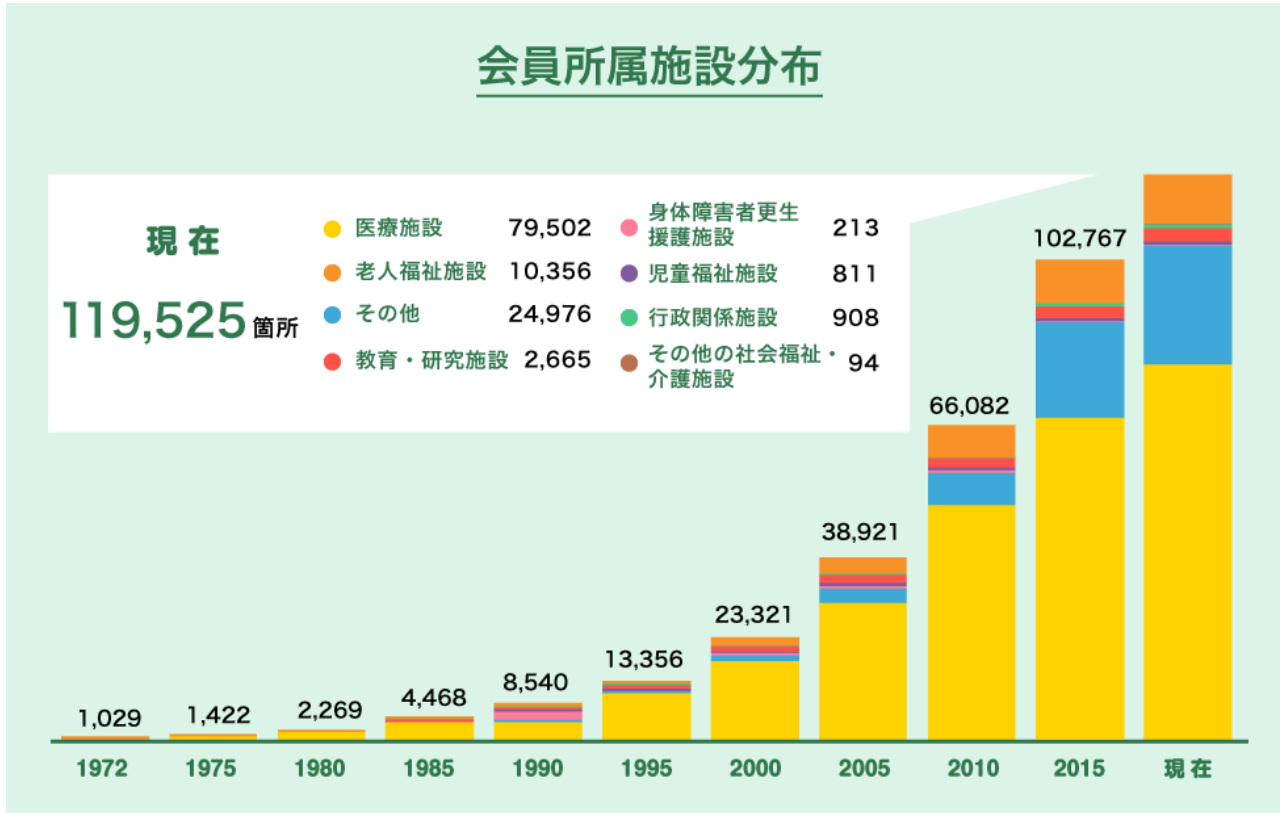


総合型選抜 2022 年度過去問題 理学療法学科

次の図と文を読んで、あとの問いに答えなさい。

◆予防領域への広がり～会員所属施設の分布



1966年に初めて理学療法士が誕生して以来、理学療法士はおもに医療施設に所属し、病気やケガをした方の社会復帰を支援してきました。現在では医療以外の領域で活動する理学療法士も増えていますが、今でも所属する会員が最も多い領域が医療施設です。

また、介護保険制度が導入された2000年前後からは、介護領域に所属する理学療法士が増えてきました。また、2014年から進められた地域包括ケアシステム（注：市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げられる支援・サービス体制のこと）の構築により、介護予防も含めた高齢者の健康を支えるための活動に、理学療法士もより積極的に参加するようになったことも一因と考えられます。

人生100年時代と言われるようになった現在、理学療法士の領域は介護予防、腰痛予防など疾患を未然に防ぐための予防領域に広がりを見せています。

◆理学療法士として社会を支える

当初はほぼ医療施設に勤務していた理学療法士が、50年の時を経て介護領域、スポーツ領域、労働者の健康支援など多様な場で働くことができるようになりました。

他の専門職とも連携しながら、理学療法士としての専門性を活かすことが、支援を必要とする方、ひいては社会を支えることにつながります。これからも理学療法の普及と理学療法士の育成に努め

続けます。

日本理学療法士協会 リガクラボ 「数字で見る理学療法士～統計データで国内・海外の状況を知ろう」より一部抜粋

<https://rigakulab.jp/2019/12/19/id000023/>

問 1 “予防領域への広がり”を参考にして、理学療法士に求められていることは何か、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい（字数には句読点を含む）。

問 2 “他の専門職とも連携しながら（赤線で示した部分）”について、連携を円滑に行うために大事なことは何か、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい（字数には句読点を含む）。